

科目ナンバリング：DIB-2-431-13

商学部：「卒業認定・学位授与方針」で謳う「幅広い教養」を身につける為の科目

■授業の目的及び到達目標

本科目は、政治学の基礎を学び、専門的な学習のための基礎、ならびに社会人として必要な教養を身につけることを目的とする。政治について学問的な観点から考察できるようになることを到達目標とする。

■授業計画

- 1 インTRODクシヨン
講義の進め方、単位取得の条件、試験の形式について説明する。また、政治とは何かについて概観する。
- 2 デモクラシーの起源
古代のデモクラシーと近代のデモクラシーの特徴について講義する。
- 3 デモクラシーの変容
国民国家、大衆デモクラシーの登場について講義する。
- 4 福祉と政治
福祉国家の来歴と特徴について講義する。
- 5 デモクラシーの様々な仕組み
議院内閣制と大統領制の違いについて講義する。
- 6 選挙
選挙制度と投票行動論について講義する。
- 7 議会と政党
議会と政党の機能について講義する。
- 8 中間講義
受講者との質疑応答を通じて講義の前半部を振り返る。
- 9 政策過程と官僚・利益集団
政治過程ならびにそのアクターについて講義する。
- 10 世論とマスメディア
メディアによる世論形成と政治の関係について講義する。
- 11 地方自治
地方自治ならびに地方分権について講義する。
- 12 グローバル化
グローバル化に伴う政治単位の再編について講義する。
- 13 デモクラシーの現在
デモクラシーに関する先端的な現象と理論について講義する。
- 14 講義の補足とまとめ
受講者との質疑応答を通じこれまでの講義を振り返る。
- 15 試験と解説
期末試験および終了後にフィードバックとして解説を行う。

■授業の方法

毎回レジュメを配布し、これに基づいて講義を行う。また、可能なかぎりを受講生との双方向的な意見の交換を随時試みる。履修者が少人数の場合、ゼミ形式の講義に切り替える。その場合、受講生の意見も取り入れて購読する文献を決定する。

■予習・復習

授業計画に沿ったアサインメント（教科書の通読）を、毎週の予習課題とする。復習としては、講義で学んだ枠組や知識を用いてニュース等で接する政治的イシューを考えてみる事が望ましい。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

講義への参加とリアクション（30%）、期末試験（70%）。毎回の講義の終わりに任意でリアクションペーパーを提出してもらい、しっかりと自分の考えが書かれているものについては若干の加点をする。

■教科書・参考書

教科書：川出良江・谷口将紀編『政治学』東京大学出版会、2012年

参考書については、その都度、講義レジュメで紹介する。

■関連する科目

政治学入門、比較政治学、現代デモクラシー論、政治過程論をはじめとする、広く政治学に関連する科目一般。